

街路樹

学力向上に向けて
～いわき市学力実態調査の結果から～

国語についてのアンケート結果

質問内容 「新しく覚えた言葉は、普段から
できるだけ使うようにしていますか？」

「はい」と答えた割合

	全国				いわき市
	平均	上位	中位	下位	
小学校6年	63.4	69.9	63.3	56.8	66.6
中学校1年	63.2	70.1	65.2	63.7	66.2

この項目については、小学校・中学校の児童生徒の割合の差はほとんど見られない。1年前の同じ項目の調査結果と比べ、肯定的に回答する児童生徒の割合が増えている。語彙に関する指導が、実際生活に生かされつつあると考えられる。

国語科に限らず、その教科に必要な語彙をしっかりと指導し、身に付けさせることが大切である。また、調べる学習や日常の授業場面において、辞書を活用させる指導を積み重ねることが必要である。自ら進んで辞書を活用し、自ら語彙を獲得できる子どもを育てていきたい。



教育相談のお知らせ

体調不良等で長期の欠席や保健室で一日を過ごしている子どもたちのために「医師による専門的教育相談」を実施しています。3学期は、1月26日、2月23日、3月16日の午後1時から午後5時まで行っています。

※ 問い合わせ先 22-3705



板書・ノートの指導技術 ⑥

～日々の板書について見直しましょう～

Q. まっすぐな線や円を描くときは、
どうすればよいでしょうか？

A. どの教科でも黒板に直線や円を描くことがあります。それには、定規やコンパスで描くのとフリーハンドで描くとの二つの方法があります。

① 正確第一が基本になる

小学校の低学年の場合には、正確第一ということを中心にしたいものです。また、定規やコンパスを使えば正しい直線や円を描けることを指導する必要もあります。教師がいい加減に描くと、子どももいい加減に描いてしまうようになります。

授業中、あまり丁寧に描いていると時間がかかってしまいます。本来の指導に支障が出てくる場合には、あらかじめ模造紙やOHPシートに描いておく方法もあります。

② フリーハンドで描く練習や工夫をする

高学年や中学生のように、直線や円に関する概念形成ができてしまえば、フリーハンドでも通用します。しかし、図形の学習の場合には、定規やコンパスを使って正しく描くことが必要です。

直線や円はフリーハンドで描けるように、普段から練習しておくような心構えが大切です。特に円の場合には、自分なりの感覚をつかんでおくようにしましょう。

フリーハンドで真円に近い円が描けると、子どもたちは教師の技にびっくりするものです。教師として、このような技能は身につけておきたいものです。



研修の感想紹介

導入ソフト活用講座 (11月)

<講義・演習>

○「はっぴょう名人」を使うのははじめてだったが、想像以上に楽しく、色々を試したいと思った。他の先生方の作品を見て、ホームページ上の写真を切り取ったり、リンクを張ることができることを知り驚いた。今回の研修で学んだことを、導入やまとめに生かすことができれば、子どもたちも楽しく集中して学習できると思った。

○「はっぴょう名人」の使い方を丁寧に教えてもらい、リンクの設定やスライドの仕方、音声も付けることができ、とてもうれしく思った。理科の新聞やまとめなど、全体での発表や実験、観察などにもこのソフトを使い授業に生かしていきたいと思う。



経験者研修Ⅲ<全体研修②> (12月)

<講義・実習>

○勿来二小、湯本二中の「基礎学力向上の実践」を聞くことができ、大変参考になった。両校とも家庭学習のさせ方に視点を当てており、本校でも工夫し実施しているところです。

○学校の組織や教職員の連携が教育の現場では重要である。今までの経験でも、うまくいっている学校、そうでない学校があった。管理職の役割もとても大きいと思うし、私たち中堅教員の役割も大切である。これから先も、同僚の教員、管理職とよい関係を保ち教育の現場で頑張りたい。

○組織としての力を高められるよう中堅教員としてリーダー性を高めつつコミュニケーションのスキルアップを図って、仕事に当たっていききたい。